

令和 5 年 第 2 回定例会 総務企画委員会資料

県出資団体等改革工程表

鹿島都市開発株式会社（精査団体）	（地域振興課）
鹿島臨海鉄道株式会社	（交通政策課）

令和 5 年 6 月 16 日

政 策 企 画 部

改革工程表2(年度別実行計画)

団体名及び部局・課名	鹿島都市開発株式会社	政策企画部地域振興課
改革遂行責任者	代表取締役社長	政策企画部長、地域振興課長、総務部長、出資団体指導監

改革方針	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【1進行管理】 ・営業推進本部会議・ホテル会議 (月1回開催)において進行管理を行う	営業推進本部会議(R4年度より経営改革会議へ名称変更)・ホテル会議による進行管理				
【2新たな中期経営計画の策定】 ・次期中期経営計画を策定し経営改善に取り組む	<p>[毎月1回開催]</p> <p>中期経営計画の策定 (R2~R6)</p> <p>[R2.6月株主総会で報告]</p> <p>検討実施 → 検証・改善等</p>	<p>[毎月1回開催]</p> <p>中期経営計画の見直し (R4~R6)</p> <p>[R4.2月定時取締役会で報告]</p> <p>検討実施 → 検証・改善等</p>	<p>[毎月1回開催]</p> <p>検討実施 → 検証・改善等</p>	<p>検討実施 → 検証・改善等</p>	<p>検討実施 → 検証・改善等</p>
【3新たな中期経営計画に基づく取り組み】 (1)売上確保への取り組み強化 ①ホテル宿泊稼働率の向上 R6目標値: ・宿泊稼働率55.0% ※R1実績 57.9% ・インバウンド受入れの推進	<p>64.0%</p> <p>[26.5%]</p>	<p>64.0%</p> <p>[28.9%]</p>	<p>64.5% 【45.0%】</p> <p>[42.2%]</p>	<p>64.5% 【50.0%】</p>	<p>65.0% 【55.0%】</p>
②ホテル事業に関する利用者数の増 R6目標値: ・ホテル事業利用者数635千人 ※R1実績 701千人 ・ホテル全体で売上確保	<p>710千人</p> <p>[352千人]</p>	<p>715千人</p> <p>[486千人]</p> <p>※ワクチン接種会場利用者含む。 ワクチン接種者除く利用者数 382千人</p>	<p>720千人 【526千人】</p> <p>[466千人]</p> <p>※ワクチン接種会場利用者含む。 ワクチン接種者除く利用者数425千人</p>	<p>720千人 【578千人】</p>	<p>725千人 【635千人】</p>
③宴会・レストラン部門の収支改善 ・5%削減(対H25年度(118.7%)比) (実績-118.7%(H25年度)≤-5%) ・売上額に対するコスト(売上原価、一般管理費) の割合削減	収支改善を継続				
	<p>(実績237.5%) [+118.8%]</p>	<p>(実績153.2%) [+34.5%]</p>	<p>(実績126.1%) [+7.4%]</p>		
④施設管理業務の受託件数の増 R6目標値: ・受託件数17件 ※R1実績 16件 ・情報の収集及び営業活動の強化	年間受託件数17件				
	<p>[17件]</p>	<p>[17件]</p>	<p>[17件]</p>		

※注 ◆--- は対応時期(◆)が明確な事項を表示、 ⇄ は改革期間及び推進事項を表示

改革方針	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
⑤テナント入居率の向上 R6目標値： ・テナント入居率84.7% ※R1実績 77.2% ・情報収集及び情報発信等	80.0%	80.0%	80.0% 【82.7%】	80.0% 【84.7%】	80.0% 【84.7%】
	[75.7%]	[75.8%]	[80.9%]		
(2)債務超過の計画的解消 ・債務残高(R2.3月末) 3,472百万円	14億円以上の債務超過の解消 【4億円以上の債務超過の解消】				
	[84百万円を解消]	[1,228百万円増]	[321百万円を解消]		
【4県関与のあり方】 県貸付金償還金の計画的償還 ・未償還残高(R2.3月末)約72億円 ・償還額380百万円/年	平準化計画に基づき償還				
	[償還額：380百万円] 未償還残高：6,846百万円	[償還額：380百万円] 未償還残高：6,465百万円	[償還額：380百万円] 未償還残高：6,085百万円		
【5進行管理結果の公表】	毎年度の進行管理結果を県議会に報告するとともに、ホームページ等で公表				
	[R2.6月 県議会報告] [R2.6月 県ホームページ公表]	[R3.6月 県議会報告] [R3.6月 県ホームページ公表]	[R4.6月 県議会報告] [R4.6月 県ホームページ公表]		

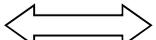
※注 ◆--- は対応時期(◆)が明確な事項を表示、 ⇄ は改革期間及び推進事項を表示

改革工程表 2 (年度別計画)

団体名：鹿島臨海鉄道株式会社

所管部局・課名：政策企画部交通政策課

取り組むべき項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 収支改善の取り組み (1) 旅客輸送量の増加	年間旅客輸送人員 2百万人 [172万人]	年間旅客輸送人員 2百万人	年間旅客輸送人員 2百万人
1) イベント列車運行、茨城デスティネーションキャンペーンへの参画などによる集客力アップ	臨時列車・貸切列車の運行、ロケ誘致、ツアーの実施 (月1回以上)		
2) エレベーター設置による利便性向上	[臨時・貸切列車運行 平均月4.2回] [ロケ・ツアーの実施 平均月1.9回]		
(2) 貨物輸送量の増加	年間貨物輸送量 28万トン [25.3万トン]	年間貨物輸送量 29万トン	年間貨物輸送量 30万トン
1) 新規貨物の獲得のための営業強化	JR貨物との共同営業 (年30回以上)、モーダルシフト説明会の開催 (年2回以上)		
2) 大型リフター導入などによる貨物取扱能力の増強	[JR貨物との共同営業 年94回] [モーダルシフト説明会の開催 年4回] [R4.11月大型リフター導入]		
2 取組状況の検証	各年度の経常黒字化 [△ 67,170千円]		
3 進行管理結果の公表	毎年度の進行管理結果を県議会に報告するとともに、県ホームページ等で公表 [R4.6月 県議会報告] [R4.6月 県ホームページ公表]		

※注  は改革期間及び推進事項を表示

[] は目標達成状況を表示